

奉祝 天皇后御即位三十年 明治維新百五十年

まつりのたましひ

展「油彩画＋木彫＋日本画」

展覧場所

ひたちのくにそうしゃぐう

常陸國總社宮 参集殿

(茨城県石岡市総社 2-8-1)

www.sosyagu.jp

展覧会期

平成30年9月

13日(木)～19日(水)

午前9時～午後5時

入場無料

主催 ギャラリーさわらび

東京都中央区銀座 1-9-8-2F

tel:050-3635-3001

www.gsawarabi.com

協力 常陸國總社宮

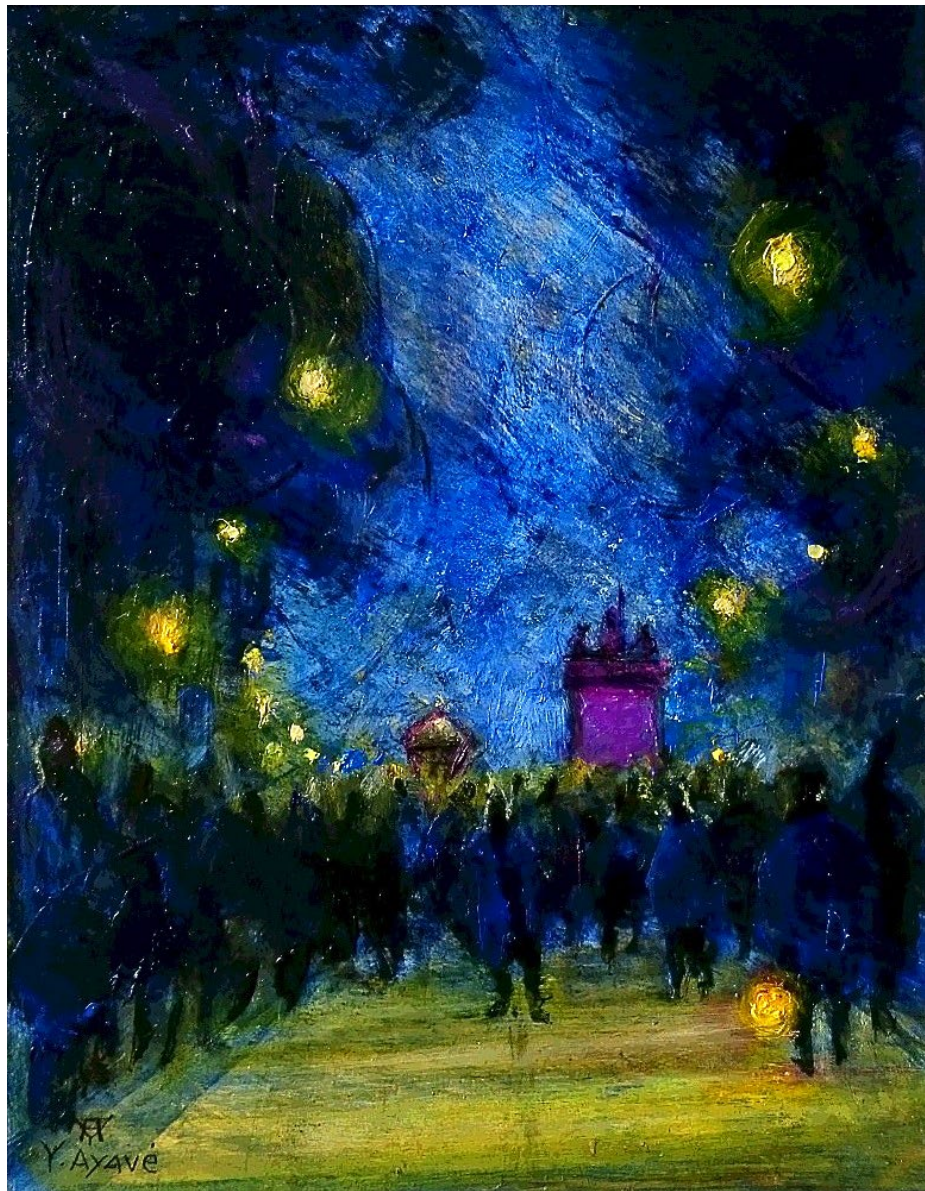
石岡のおまつり振興協議会

☆ 常陸國總社宮例大祭

(石岡のおまつり)

9月15日(土)

～17日(月・祝)



《石岡の雨まつり》綾部好男 油彩・墨・紙 23x18cm

常陸国には万葉集で最も多く詠まれた山である筑波山があり、日本建国の神、武甕槌大神をご祭神とし、防人(さきもり)達が祈願した鹿島神宮が鎮座し、また、日本武尊(常陸国風土記では天皇)の「新治筑波を過ぎて幾夜か寝つる」の歌は、連歌の起源となりました。大化の改新で知られる中臣(藤原)鎌足は常陸出身と云われ、北畠親房は常陸で神皇正統記を書き、水戸光圀は大日本史編纂等幕末維新に多大な影響を及ぼし、或いは楠木正成に連なる一族が戦った地でもあるなど、常陸は尊皇の雰囲気非常に濃い土地柄です。

関東三大祭り、常陸國總社宮例大祭では、菊花紋を許された格式ある大神輿をはじめ、絢爛豪華な山車や石岡特有の勇壮な幌獅子など四十数台が巡行し、武甕槌大神、神武天皇、日本武尊、仁徳天皇、菅原道真、八幡太郎義家、楠木正成など、沢山の山車人形が見られ、總社宮境内には日本武尊の腰掛石と伝承される神石があります。

神話から繋がる長い歴史の伝承は他に類無く、その中でこそ生み出されてきた日本独自の文化芸術を顧みるとき、歴史とはわれらの体中に存し活動す、と述べ、維新・明治の精神を温めた岡倉天心が、晩年常陸に在った心を想います。

常陸・茨城には戦後忘れられたかのような、日本の心が息づいている…。

天皇后御即位三十年、明治維新百五十年という御年に、日出づる東国の常陸(日立) 国府、その總社宮例大祭にて、奉納展覧会を開催できることを誠に有難く思います。

油彩画・墨画の綾部好男さんは、武蔵府中の国府祭など、長年、祭りを題材に描き続け、自らも囃子を伝授するなど、祭りの現場の真ん中で仕事をしました。石岡のおまつりや石岡三村の祇園祭を見て綾部さんは、自らが子供の頃の祭りを見ているようで涙が出ると感激し、石岡に何度も足を運び、昨年は台風の中、石岡のおまつりを描くなど、祭りの魂を作品に昇華させています。

木彫の佐々木誠さんは正に尊皇の人で、その血ゆえの彫刻を現代という時代に生み出しており、平成二十七年の「スサノヲの到来」(足利市立美術館、渋谷区立松濤美術館、山寺芭蕉記念館等巡回)展でも注目を集めました。以前の個展名「大日本者神國也(おほやまとはかみのくになり)」は、神皇正統記の一節です。

日本画の木村浩之さんは相撲をテーマに描き続けており、一昨年、石岡の舟塚山古墳(堀を含め一六〇M)を訪れ、そこから見る風景の悠大さに想を得た作品「筑波」を描きました。「相撲の所作には、自然への感謝や、国の繁栄を願う思いが込められている。日本の文化が凝縮されている(画家談)」。

神事である相撲の起源の神でもあり、武の神である鹿島神の神域と、紫峰・筑波山という神山に挟まれた神話の里、常陸国府、石岡のおまつり(常陸國總社宮例大祭)と併せ、皆様のお越しをお待ちしております。(田中壽幸)



「鏡」(中央) 佐々木誠 桂・彩色 H100x60x35cm 撮影/富野博則



「筑波」木村浩之 ジークレー版画 限定50部 直筆署名 B3
(原画/日本画 カンバス・白亜・岩絵具・墨・胡粉・雲母)

ふるさとのかたゆながるゝ恋瀬川こひしからずてたれかすぐべき
ますらをのあづまをのこの一筋におもふこゝろは神ぞ知るらむ

(佐久良東雄/幕末を代表する歌人。勤皇志士。石岡生まれ。)



〔油彩画・墨画〕綾部好男 昭和16年(1941)東京府中生まれ。1965年東京藝術大学油画科卒業(牛島憲之教室)。1966年～現在、グループブシケ展(シロタ画廊)。1988年『暗闇祭り木版画集』刊行。1989年日本中国交流美術展大賞受賞(世田谷美術館)。1998年『くらやみ祭』(文:猿渡盛文、絵:綾部好男)光村教育図書。2008年『府中千年』展、ゆかいな木版画『版画の府中』展(府中市美術館)。2013～18年『くらやみ祭』展(ふるさと府中歴史館)。2018年個展(ギャルリさわらび)。〔作品収蔵〕武蔵府中大國魂神社、常陸國總社宮、品川荏原神社、府中市、ハーバード大学ライシャワー日本研究所 他。

〔木彫〕佐々木誠 昭和39年(1964)東京生まれ。1997年彫刻創型展、文部大臣賞。2010年個展(羽黒洞)。2012年アートフェア東京シャッフルⅡブース出品。2014年個展(ギャルリさわらび)。「スサノヲの到来—いのち、いかり、いのり」(足利市立美術館、2015年DIC川村記念美術館、北海道立函館美術館、山寺芭蕉記念館、渋谷区立松濤美術館に巡回)。

〔日本画〕木村浩之 昭和50年(1975)東京生まれ。多摩美術大学日本画専攻卒業。2009年個展(Galerie Hexagone / ドイツ・アーヘン)。2011年個展(柴田悦子画廊、羽黒洞)。2013年個展(新宿伊勢丹)。個展(銀座三越)。2014年第38回人人展出品。2015年個展(パークホテル東京)。2016年個展(ギャルリさわらび)。個展(南魚沼市・池田記念美術館)。

〔展覧会企画〕田中壽幸 茨城県生まれ。平成15年より画廊ギャルリさわらび主宰。京都造形芸術大学芸術学部芸術学科歴史遺産コース卒業。生誕一〇〇年 櫻井陽司展、垂直の芳香 東千賀展、たまふり 佐々木誠展、垂直ノ存在社展、祭り魂 浄らかなるくらやみ展等企画。

まつりのたましひ 展覧会

場所/常陸國總社宮 参集殿
(茨城県石岡市総社 2-8-1)

9/13 (木) ~ 19 (水)
午前9時~午後5時

(お車) 常磐自動車道 千代田石岡IC
より国道6号線水戸方面へ3km
(電車) JR 常磐線 石岡駅下車1.2km
※上野東京ライン「ときわ号」にて
上野・石岡間は50分ほどです

常陸國總社宮例大祭 (石岡のおまつり)

9/15 (土) 神幸祭
9/16 (日) 奉祝祭・奉納相撲
9/17 (月・祝) 還幸祭

※おまつり期間中の交通規制情報
www.ishioka-kankou.com